

平成23年7月

平成23年	4月	～	6月期	実績
平成23年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	6
建設業の推移	10
小売業の推移	14
サービス業の推移	18
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	22

[集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

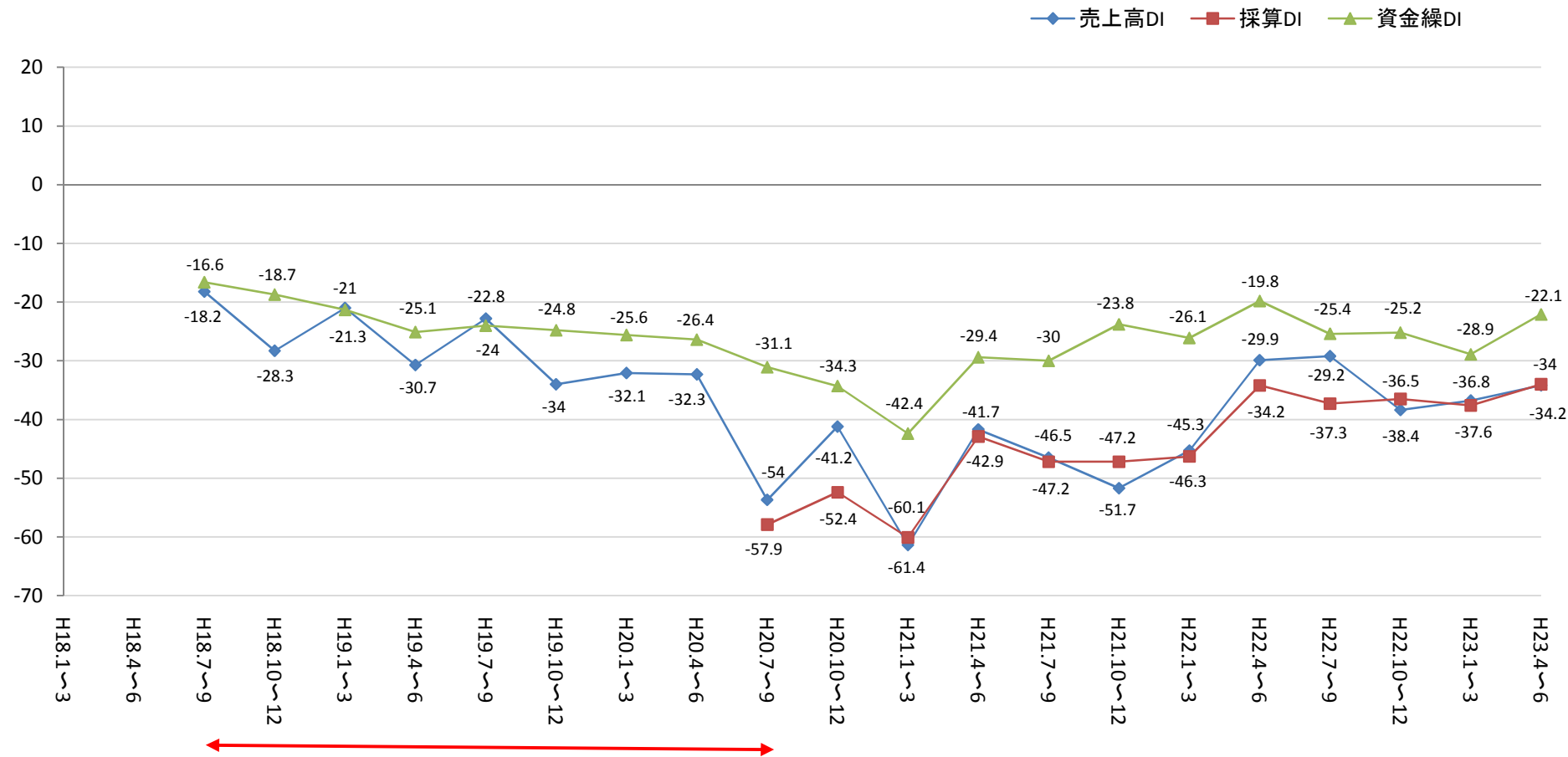
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについて全国連にはデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成21年		平成22年			平成23年		(見通し) 平成23年 7~9月	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		4~6月
製 造 業	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇
建 設 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

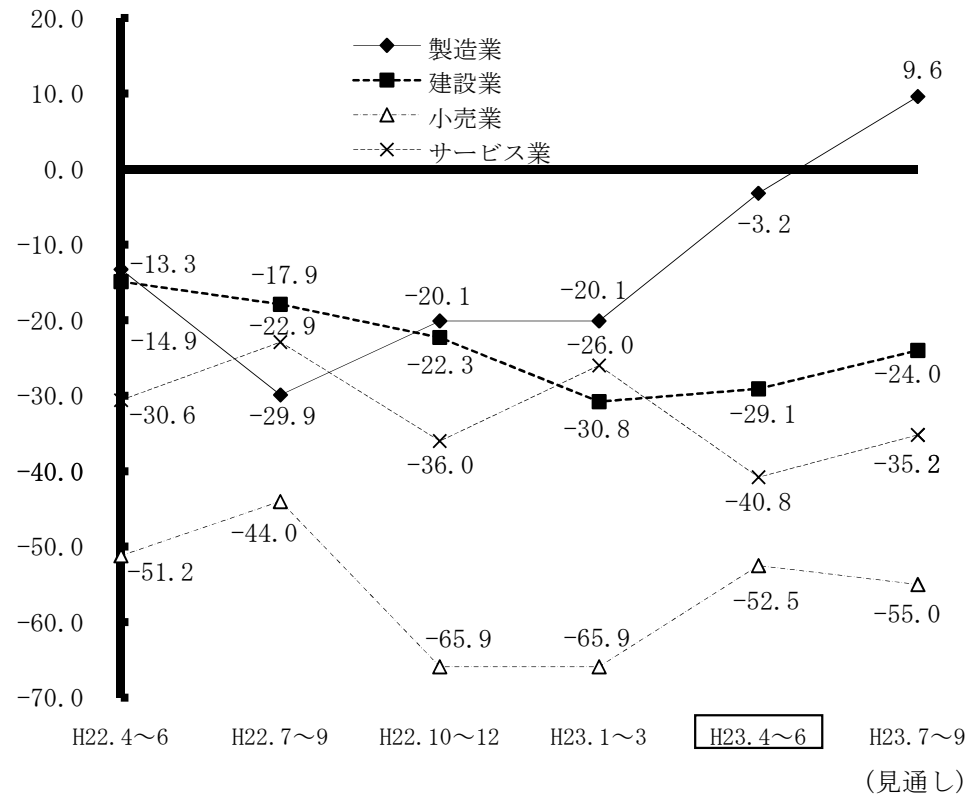
全産業の推移

売上高

今期は、製造業が、前期見通しを大幅に上回る16.9ポイントの上昇、小売業も13.4ポイントの上昇、また、大幅な下降を予想していた建設業も僅かながら上昇しました。しかし、前期見通しで横ばいを予想していたサービス業のみが14.8ポイントの下降となりました。

来期は、小売業のみが下降を予想し、その他の業種は上昇の予想となっております。中でも、製造業は引き続き大幅な上昇予想となっており、平成19年4～6月期以来4年ぶりにD・Iがプラスに転じる見通しとなっております。

※建設業の売上高は完成工事高



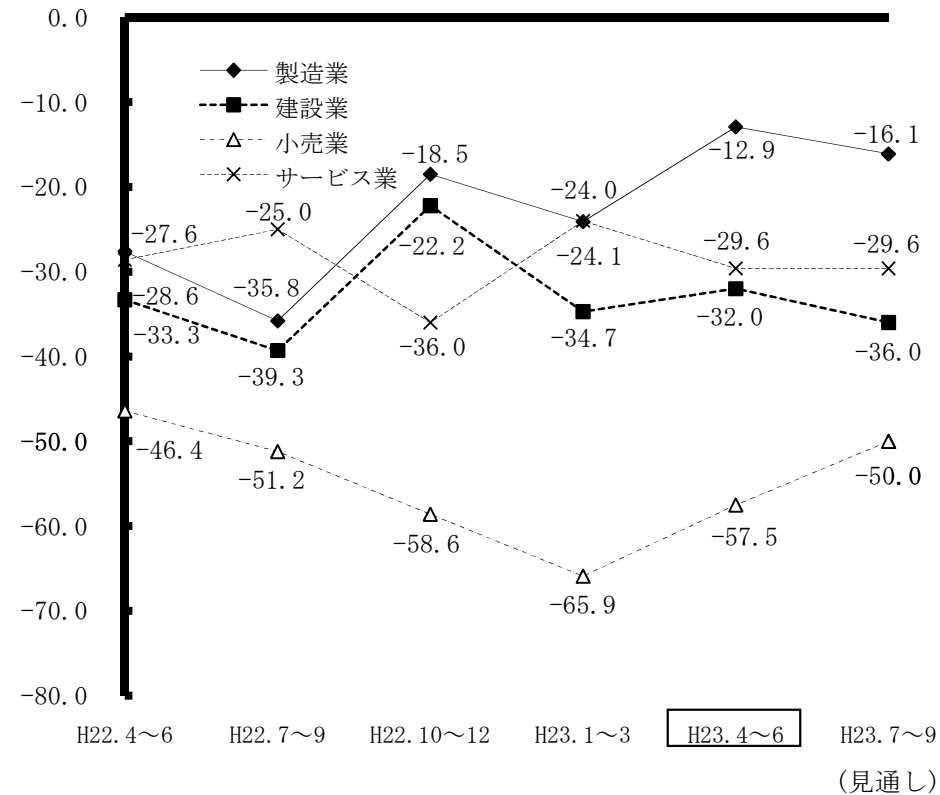
全産業の推移

採算

前期見通しでは、すべての業種において、上昇を予想しておりましたが、実際は、売上高D・Iが大幅に上昇した製造業が11.2ポイントの上昇、小売業及び建設業もそれぞれ8.4ポイント、2.7ポイントの上昇となり、サービス業のみが5.6ポイントの下降となりました。

来期は、小売業が2期連続となる上昇を予想し、製造業、建設業が下降、サービス業が横ばいの予想となっています。

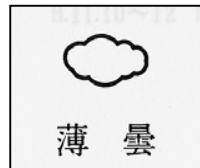
※採算は各業種とも経常利益



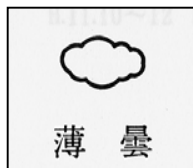
製造業の推移

売上高

<今 期>

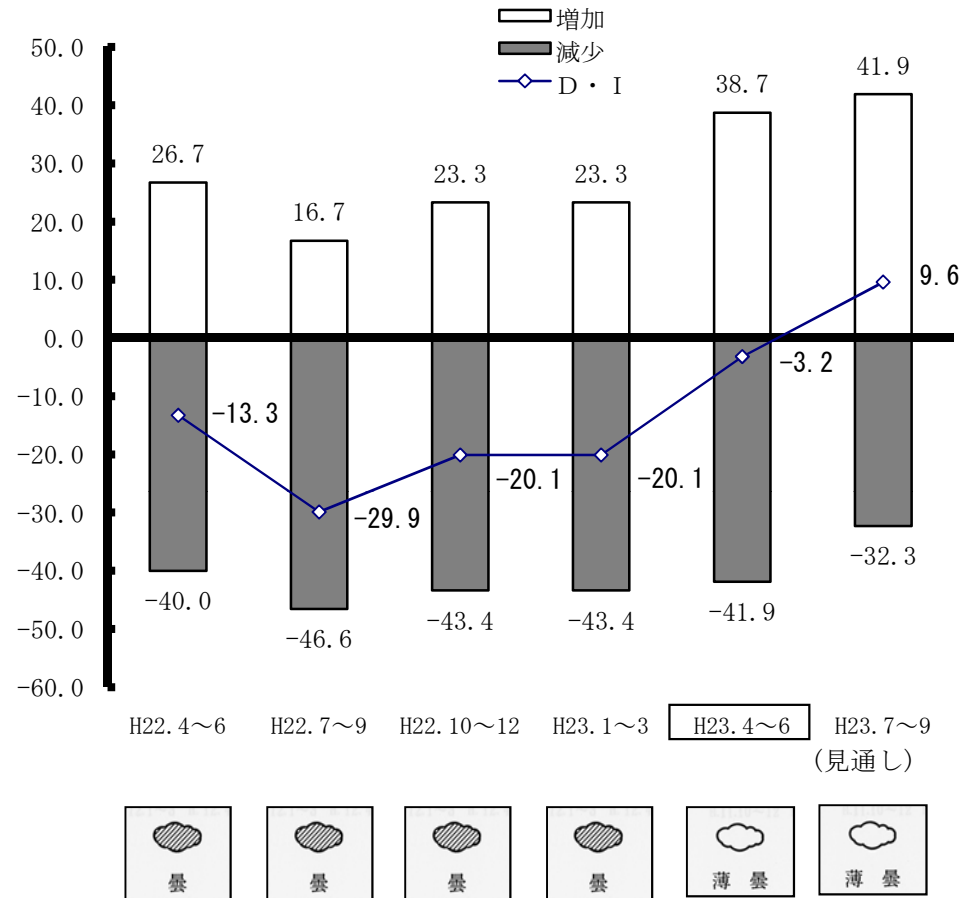


<来期見通し>



前期見通しでは、10.1ポイント上昇の△10.0となっておりましたが、実際は、売上高増加企業の大幅増が寄与して、D・Iは△3.2まで回復し、業況天気図も曇りから薄曇りへと移行しました。

来期は、引き続き売上高の増加を予想する企業が41.9%となり、D・Iは、平成19年4～6月期以来4年ぶりにプラスに転じる見通しとなっています。



製造業の推移

採算

<今 期>

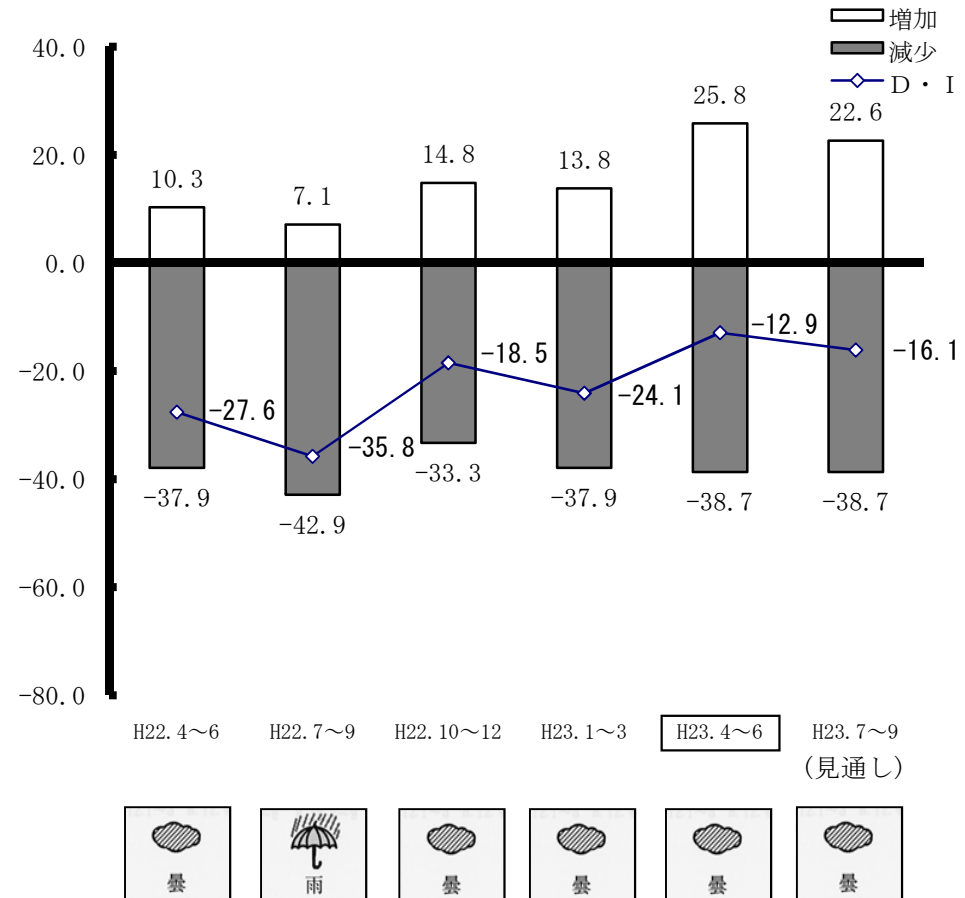


<来期見通し>



今期は、悪化企業がほぼ横ばいであるものの、好転企業の大幅な増加により、前期より11.2ポイント上昇の△12.9となりました。

来期は、採算の好転企業割合が減少することにより、3.2ポイント下降の△16.1となる見通しとなっています。

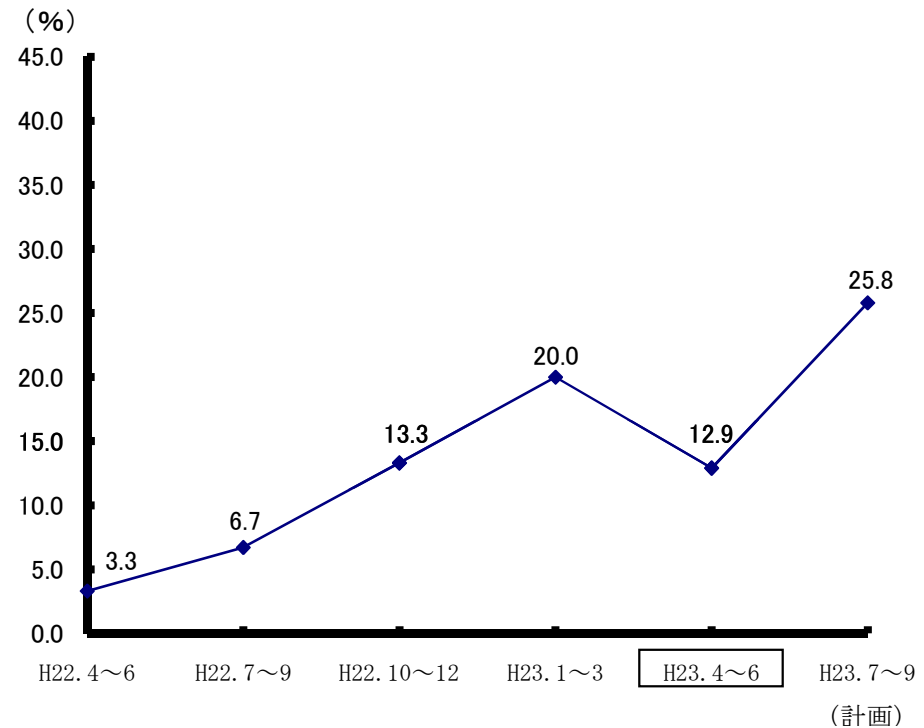


設備投資

3期連続して上昇した設備投資実施企業の割合も今期は減少に転じ、12.9%となりました。

来期は、再び上昇予想の25.8%となり、4分の1以上の企業の設備投資が見込まれております。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

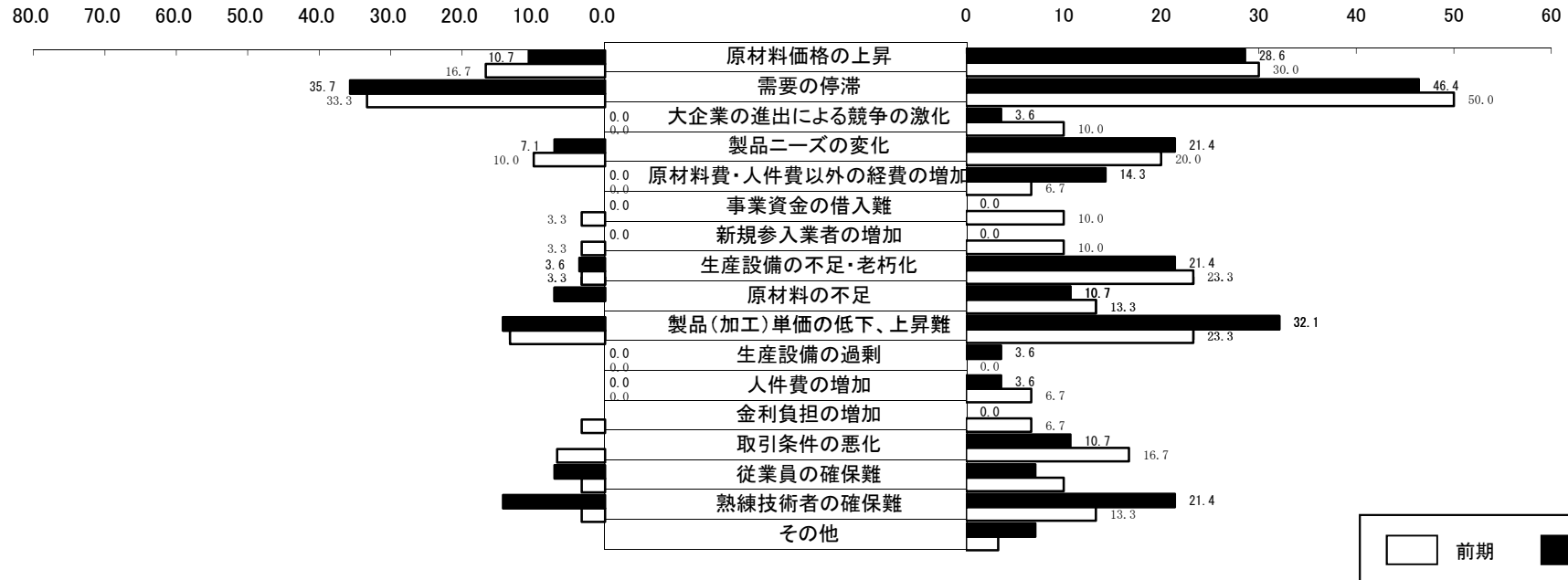
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



建設業の推移

売上高

<今 期>



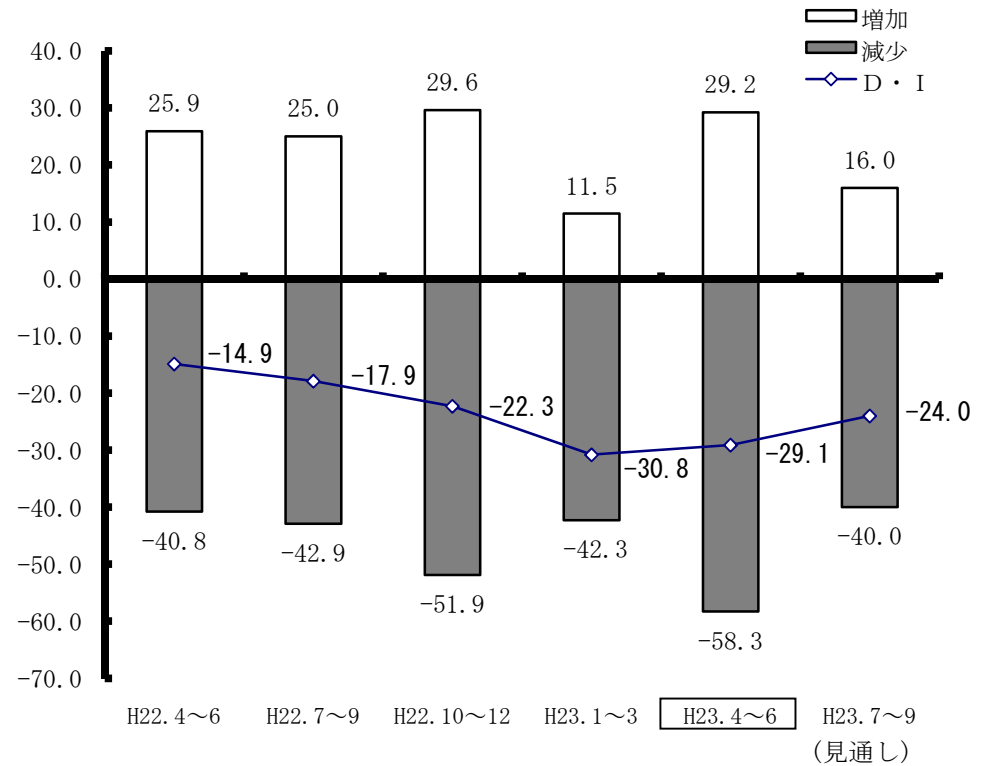
<来期見通し>



今期は、19.2ポイント下降の△50.0の見通しでしたが、好転企業割合の大幅な増加によって1.7ポイント上昇の△29.1となり、業況天気図が雨から曇りへと移行しました。

来期は、悪化企業割合の減少によって、売上高D・Iも5.1ポイント上昇し、△24.0まで改善される見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



建設業の推移

採算

<今 期>

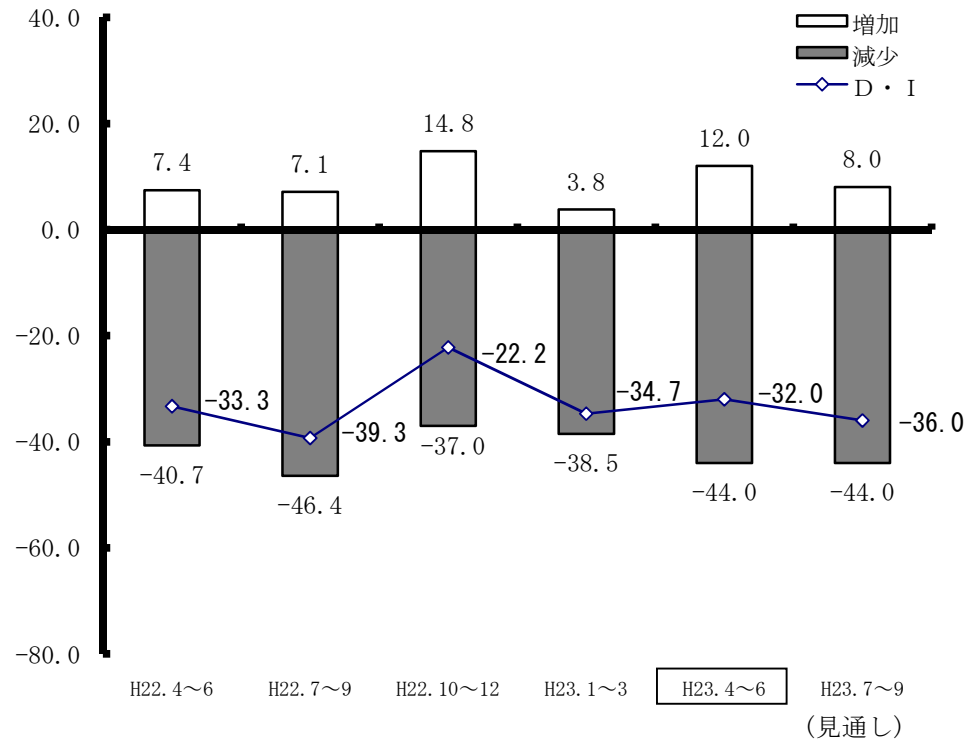


<来期見通し>



前期見通しでは、11.6ポイント上昇の△23.1となっていました。採算の悪化企業割合が予想以上の増加により、2.7ポイント上昇の△32.0にとどまりました。

来期は、好転企業割合の減少によって、4.0ポイント下降の△36.0の見通しとなっています。

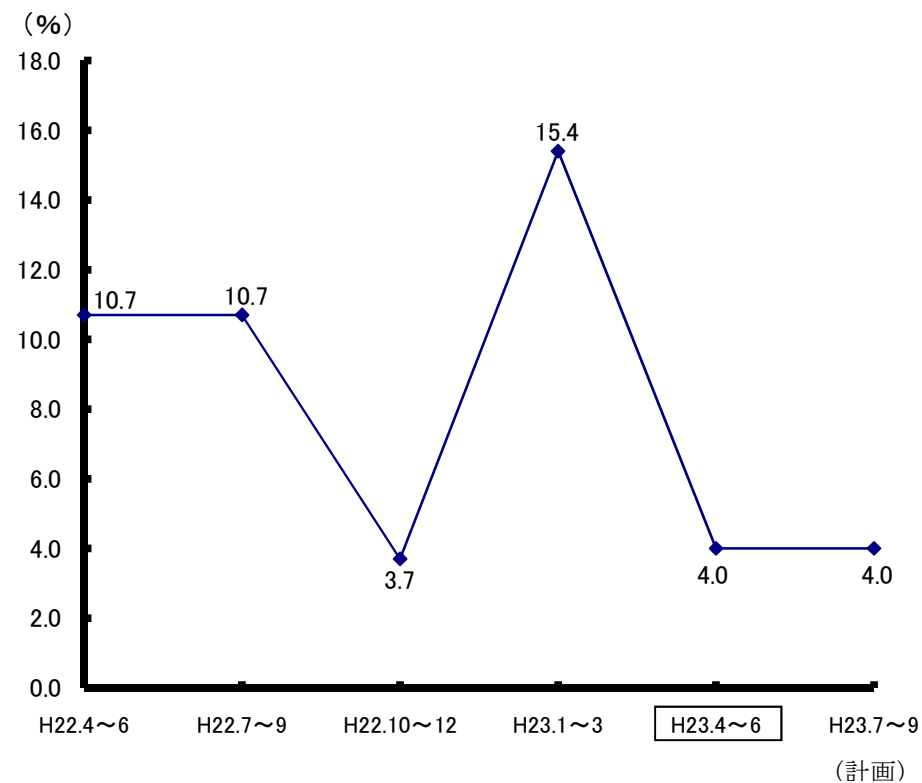


設備投資

今期は、前期見通しの11.5%を大幅に下回り、設備投資実施企業は、4.0%にとどまりました。

来期は、今期と同じ4.0%と予想されており、設備投資を実施する企業は引き続き低水準にとどまる見通しとなっています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

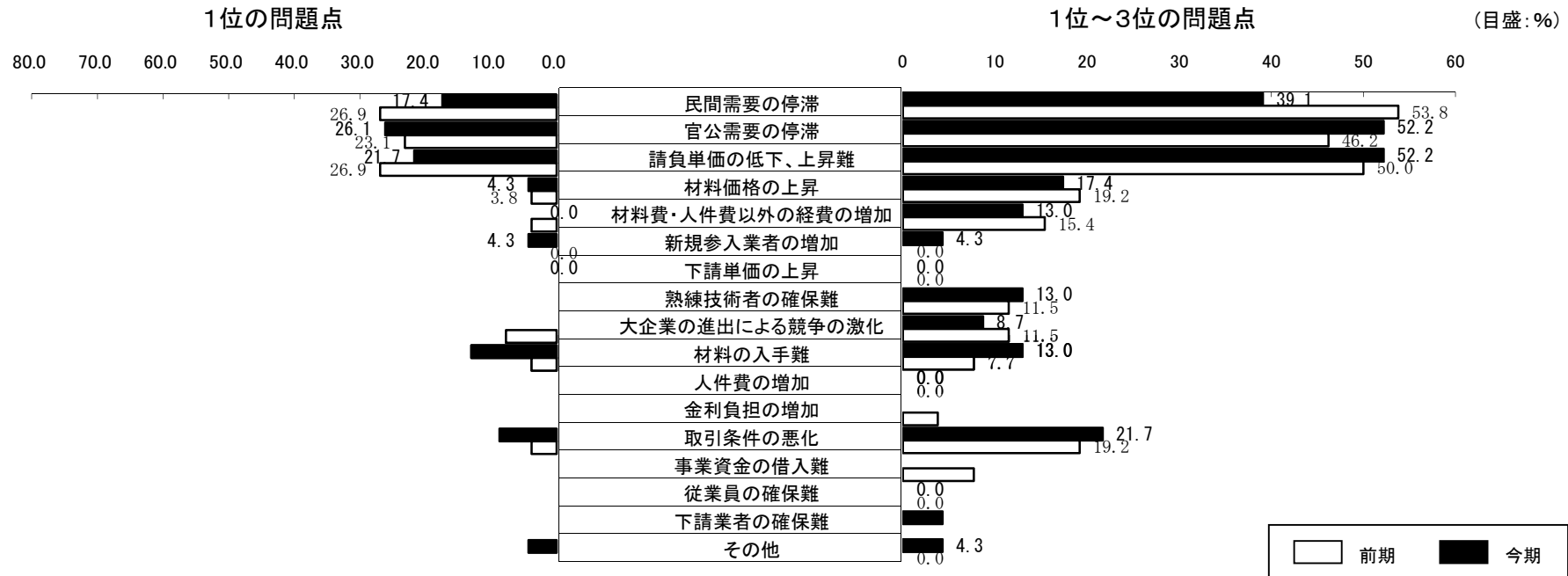


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

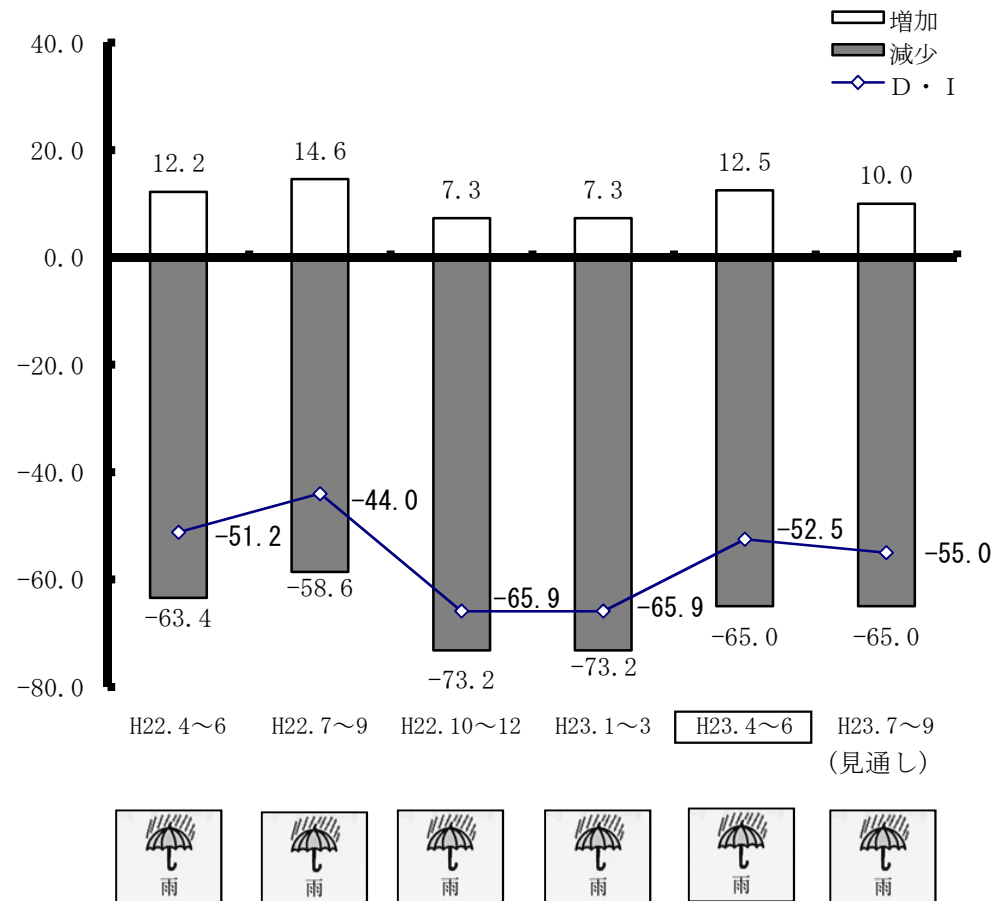


<来期見通し>



今期は、売上の増加企業が増えたことにより、13.4ポイント上昇の△52.5となりましたが、4業種の中で最低水準にあり、依然として低迷状態を抜け出せない状況にあります。

来期は、悪化予想企業は横ばいですが、好転予想企業の減少によって、売上高D・Iは2.5ポイント下降の△55.0の見通しとなっています。



小売業の推移

採算

<今 期>

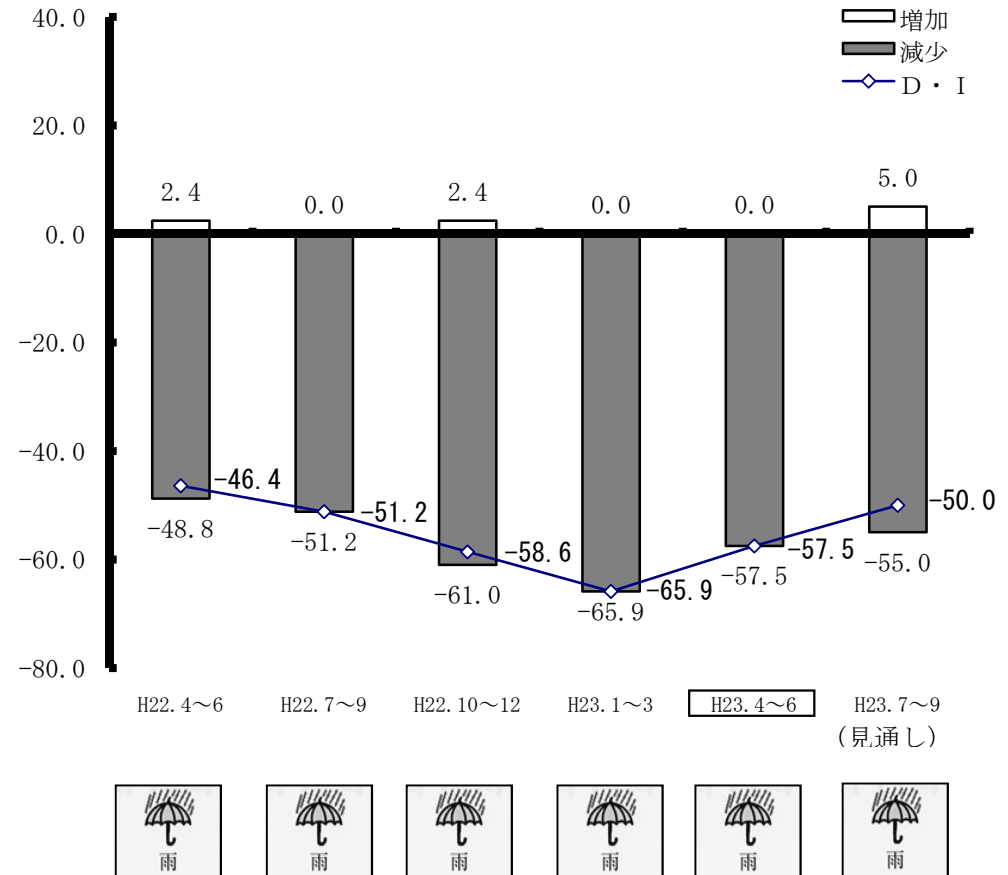


<来期見通し>



前期見通しでは、9.8ポイント上昇の△56.1と予想しておりましたが、実際は、採算の好転企業の増加により、8.4ポイント上昇の△57.5となりました。

来期は、今期に引き続き上昇が予想され、7.5ポイント上昇の△50.0の見通しとなっています。

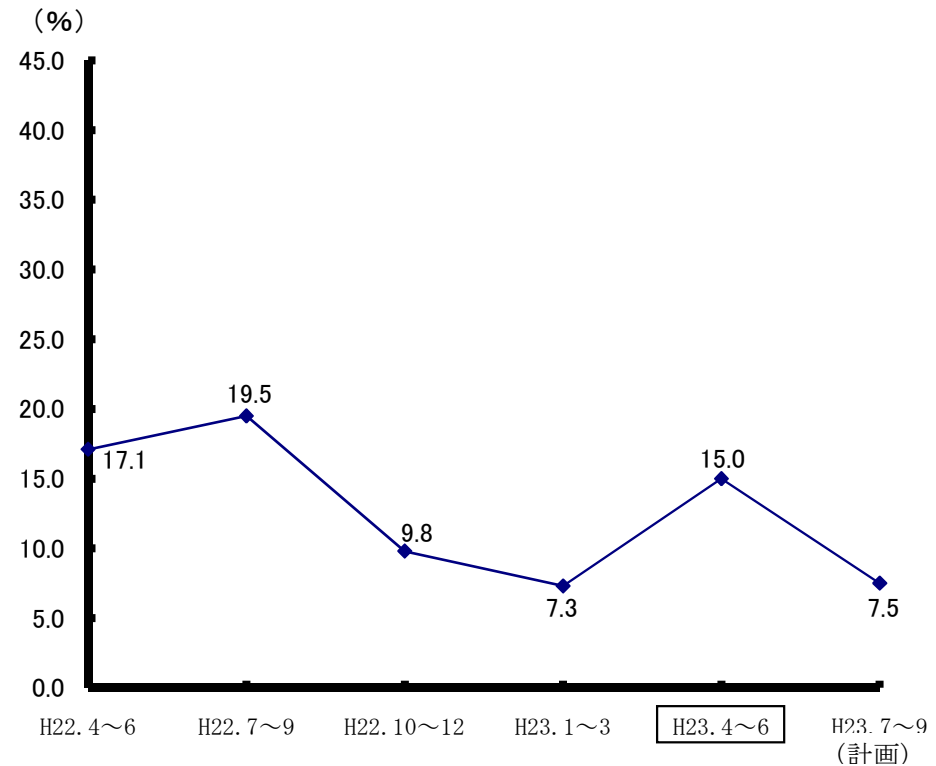


設 備 投 資

今期は、前期見通しの9.8%を上回り、15.0%の企業において設備投資が実施されました。

来期は、再び10.0%を下回り、7.5%の企業で設備投資が計画される見通しとなっています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



小売業の推移

経営上の問題点

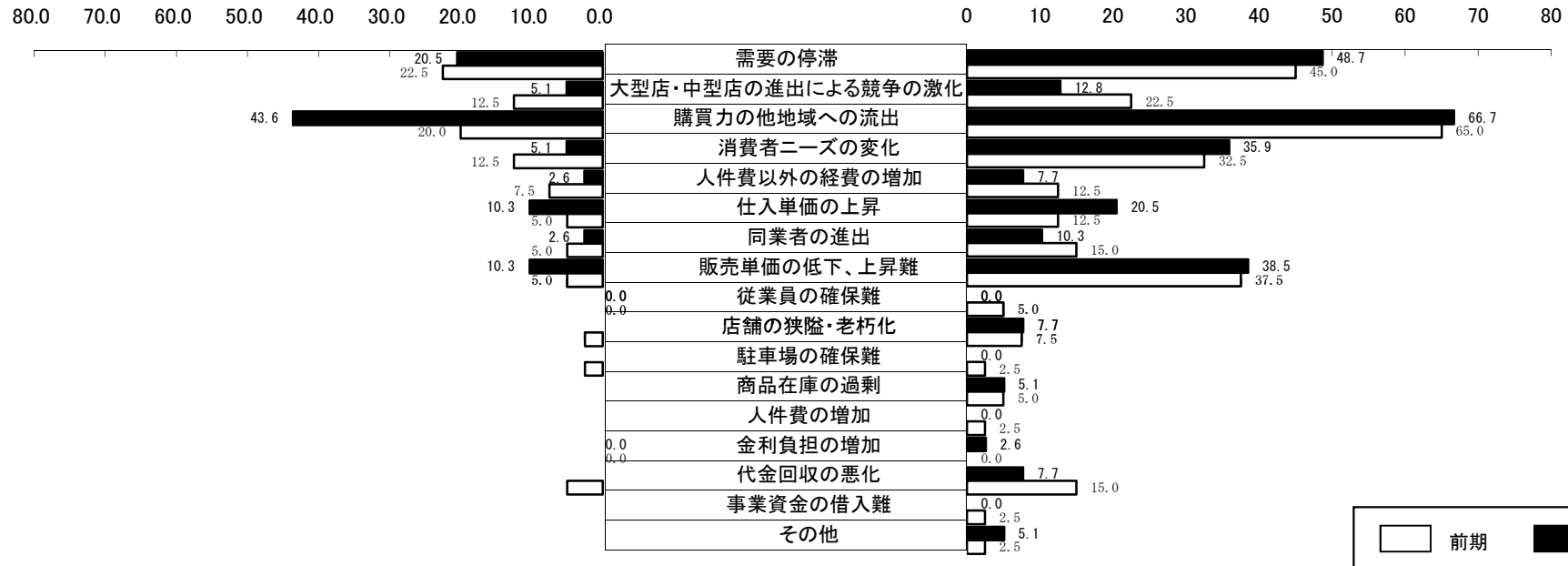
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

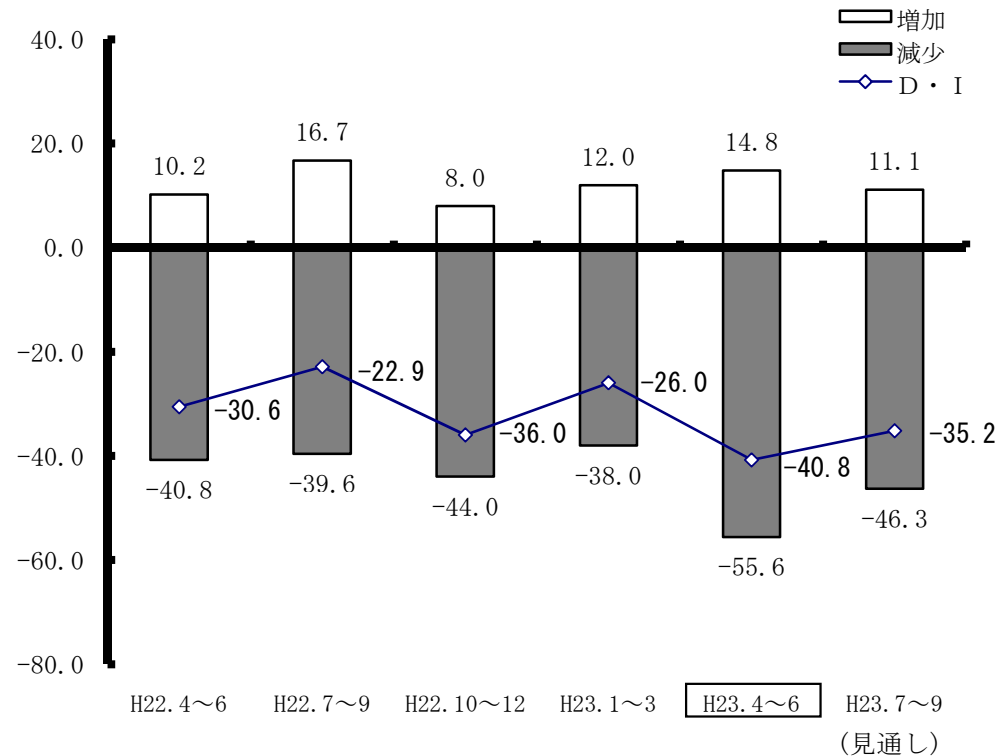


<来期見通し>



前期見通しでは、横ばいの予想をしておりましたが、実際は、売上高減少企業が大幅に増加したことにより、14.8ポイント減少の△40.8となりました。

来期は、売上高の増加企業、減少企業ともに減少が予想され、売上高D・Iは5.6ポイント上昇の△35.2の見通しとなっています。



サービス業の推移

採算

<今 期>



曇

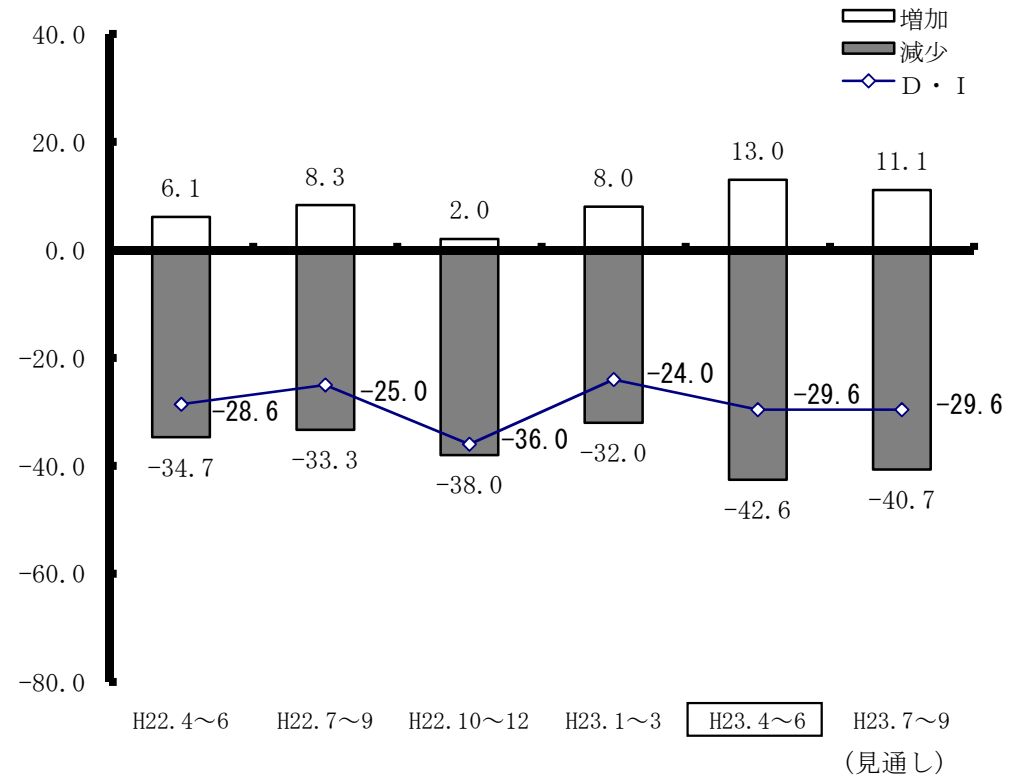
<来期見通し>



曇

今期は、好転企業割合が増加したものの、それを上回る悪化企業割合の増加によって、前期より5.6ポイント下降の△29.6となりました。

来期は、ほぼ今期と同様の状況が継続し、横ばいの△29.6の見通しとなっています。



曇



曇



雨



曇



曇



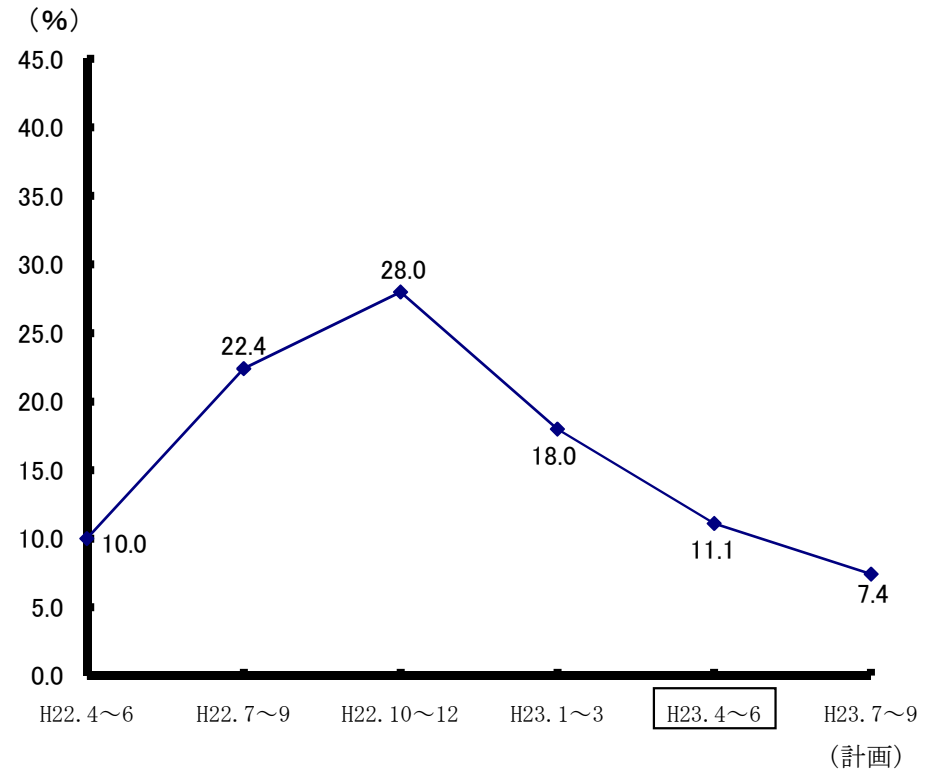
曇

設備投資

今期は、前期見通しの18.0%を下回り、6.9ポイント減少の11.1%にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業が今期をさらに下回り、7.4%になると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

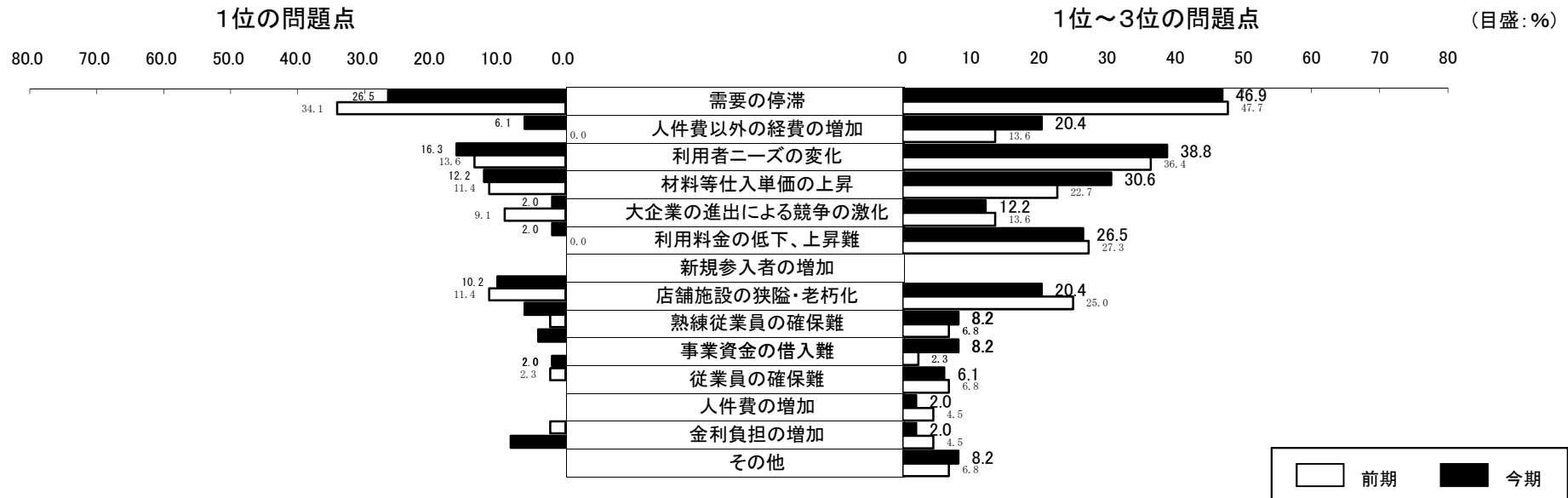


サービス業の推移

経営上の問題点

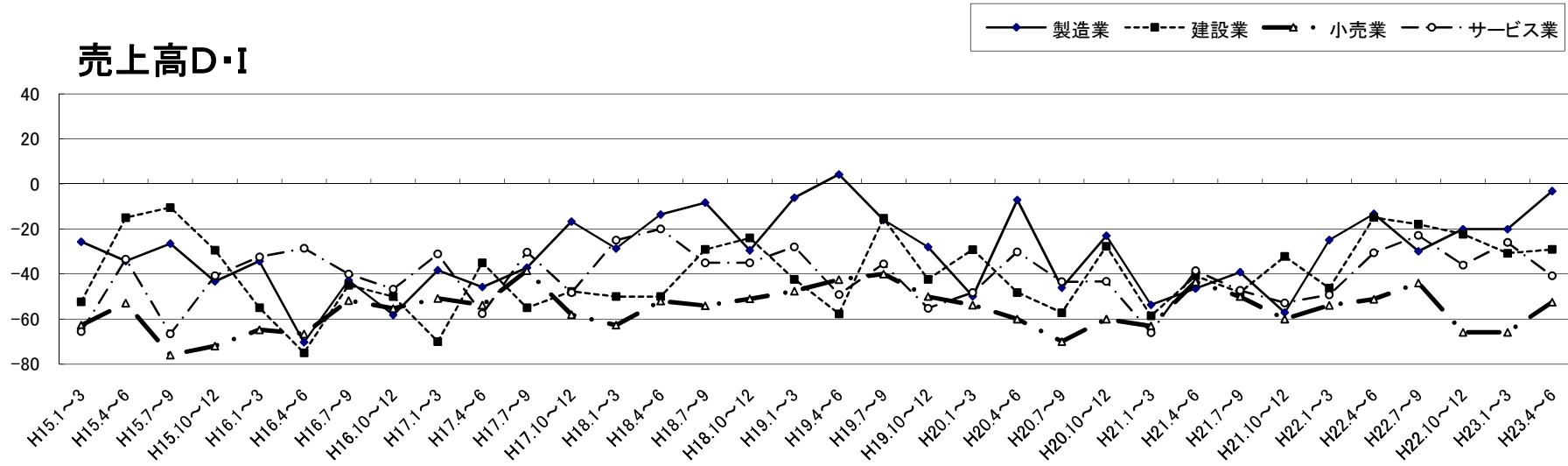
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

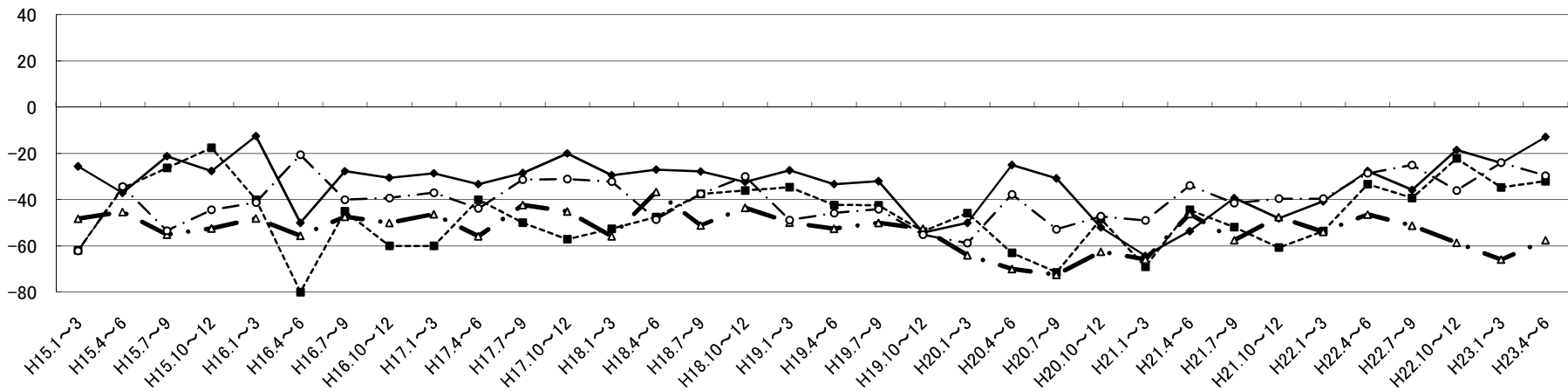


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成23年4月～6月を対象とし、調査時点は平成23年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		31 (20.7)	31 (20.7)	100.0
建設業		25 (16.7)	25 (16.7)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		54 (36.0)	54 (36.0)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。